

平成29年第1回鹿角市議会定例会 代表質問

□質問順位及び質問所要時間

2月13日（月）午前10時～

- | | | | | |
|---|------|----|--------|-------|
| 1 | 宮野和秀 | 議員 | 誠心会 | (60分) |
| 2 | 兎澤祐一 | 議員 | 公明・鹿真会 | (60分) |
| 3 | 高杉正美 | 議員 | 創生会 | (60分) |

□質問時間割当表

	10:00	11:00	11:10	12:10	13:00	14:00
2月13日（月）	宮野和秀 (60分)	休憩 10 分 間	兎澤祐一 (60分)	休憩	高杉正美 (60分)	

平成29年第1回鹿角市議会定例会代表質問

順位	1	会派名	誠心会	代表質問者	宮野 和秀	質問所要時間	60分	No.1
質問事項			質問要旨					
1 6次総後期基本計画の推進について (1)後期基本計画1年目の成果と今後4年間の推進について (2)新年度における後期基本計画重点プロジェクトの取り組みについて (ア)産業力強化プロジェクト			<p>① 地方創生総合戦略を取り入れた後期基本計画の1年目として、各種事業を積極的に展開してきたが、1年目の評価をどのように捉えているか。また、先般、市長は次期市長選への出馬表明をされたが、自ら策定した今後4年間の後期計画に責任を持つ意味でも、ぜひ引き続きリーダーシップを發揮していただきたい。改めて4選への決意を伺う。</p> <p>② 販売重視型農業構造改革の取り組みについて、こだわり産物等の生産、加工販売を担う鹿角マルシェの推進状況と新たな地域農業を担う人材育成方策について伺う。</p> <p>③ 本市産業の主流は中小企業、農業、共同組合、NPO法人等、地域発生型が多いと感じる。近年経済の動向がグローバル化に影響されることが多くなってきているのが現状である。そのため、先行きはグローバル化に左右されにくく、さらには本市の特徴・特色を100%生かしての企業・起業家、また、産業人材を育成支援していくべきである。このことにより、地域内で再投資を繰り返すことで雇用と所得を生み出せると考える。今後の取り組みについて伺う。</p> <p>また、地元企業の高度化支援と企業誘致の取り組みについて、まちなかオフィスの設置により、地域内産業連携のプラットホーム機能が強化されたが、今後の取り組みについて伺う。</p> <p>また、並行して企業誘致も重要である。そこで市では新たな産業団地の取得、整備を行うことだが、これに伴う企業誘致の見通し、可能性について伺う。</p>					

平成29年第1回鹿角市議会定例会代表質問

順位	1	会派名	誠心会	代表質問者	宮野 和秀	質問所要時間	60分	No.2
質問事項			質問要旨					
(イ) 移住・交流推進プロジェクト			<p>① 本市の最も大きな課題である人口減少の抑制を図るため、現在まで23組47人の移住が実現し、年度内にはもう少しふえるとのことで、1年目としては大きな成果であると評価する。新年度はどのような点に力を入れていくのか、また、新たに移住コンシェルジュの募集を行っているが、確保の見通しについて伺う。</p> <p>さらに、移住コンシェルジュの方々も移住を志し、新たな起業も考えているとのことだが、彼らは今後の移住者のネットワークの核となる方々であり、ぜひ市としても支援をしていただきたいが、退任後のフォローについて、何か考えているのか伺う。</p>					
(ウ) 角ぐむ「鹿角」ブランド確立プロジェクト			<p>① 鹿角ブランドを確立するため、新年度の特徴的な取り組みについて伺う。また、1年を経過して本市の魅力度、認知度はどのように変化したのか伺う。</p>					
(エ) 子どもの笑顔きらめきプロジェクト			<p>① 保育士の処遇改善について、国では待機児童の解消には保育士不足が課題となっていることから、12月に民間保育士等の処遇改善策を決定したが、これに伴い、公立保育所の指定管理者である子ども未来事業団の保育士の処遇についても、民間同様に改善が図られるのか伺う。</p>					
(オ) みらい輝く人づくりプロジェクト			<p>① 鹿角の将来を担う子供たちの育成や、地域社会を支える人材の育成について、新年度はどのような取り組みを行うのか伺う。</p>					
(カ) まちなか賑わい創出プロジェクト			<p>① 旧鹿角郡公会堂整備について、中心市街地の魅力向上の一環として、旧鹿角郡公会堂の改修整備に取り組んでいるが、今後のスケジュールについて伺う。</p> <p>② 鹿角花輪駅前整備事業について、町の玄関口である花輪駅前整備の進捗状況と、いつ頃までに完了できるのか、今後のスケジュールについて伺う。</p>					

平成29年第1回鹿角市議会定例会代表質問

順位	1	会派名	誠心会	代表質問者	宮野 和秀	質問所要時間	60分	No.3
質問事項			質問要旨					
(キ) 地域コミュニティ活力再生プロジェクト			① 新たに集落支援員の配置を計画しているが、具体的な支援活動の内容と今後の方針について伺う。また、新年度において各地域づくり協議会職員の待遇改善は図られるのか伺う。					
(ク) 健康生き生き長寿社会プロジェクト			① 平均寿命が伸びている中で、認知症対策が重要な課題となっている。認知症への総合的な対策としてどのような取り組みを強化していくのか伺う。					
2	その他地域課題について							
(1)	地域情報化の推進について							① 本市では、10年ほど前（平成18年度）に立ち遅れていた光通信網の整備を図るため、地域インターネット基盤整備事業に取り組み、おおむね全市的に光通信網が整備されている。しかし、十和田錦木地区や山根地区、草木地区の一部では、今なお光通信が利用できない未整備地区が残されている状況にあり、採算性等の問題から民間通信事業者単独での実現は困難と聞いています。ここは、やはり以前のインターネット事業のように初期投資だけでも市が負担するなど、早期に情報格差の解消を図るべきである。新年度、ＩＣＴインフラ整備事業が新規事業として予算提案されているが、これは未整備地域を対象としたものか。また、単年度で行うものなのか伺う。
(2)	地域新エネルギー利活用の推進について							① 本市は、再生可能エネルギーの宝庫であり、現在、新エネルギービジョンに基づき、地熱発電を利用した電気の地産地消を行う（仮称）鹿角パワーに向けて検討しているが、今までの進捗状況と今後の見通しについて伺う。一方で、水力や木材資源も豊富な地域であり、小水力発電や木質バイオマス発電利用も積極的に進めるべきと思うが、新年度の市の取り組み方針を伺う。
3	スポーツによるまちづくりの推進について							① 新年度において、スポーツの持つ力をどのようにまちづくりに利用するのか伺う。 ② 10月に本市で行われる「ねんりんピックマラソン交流大会」の概要について伺う。

平成29年第1回鹿角市議会定例会代表質問

順位	2	会派名	公明・鹿真会	代表質問者	兎澤 祐一	質問所要時間	60分	No.1	
質問事項				質問要旨					
1	産業力の強化について				① 現在ブランドとして売り出している品目に加え、どのような作物をブランド化していくのか、また推進をどのようにするのか伺う。 ② 農家の所得をどのように確保していくのか伺う。 ③ 農業の冬期間の収入確保対策はできないか伺う。 ④ 若者の活躍を通じた地域活性化の後押しはできないか伺う。 ⑤ 中小企業を取り巻く環境改善の支援はできないか伺う。 ⑥ 企業の「稼ぐ力」を強化するため、販路開拓支援の強化はできないか伺う。				
2	人材確保の取り組みについて				① 働く女性が安心して子供を産み育てられる社会の構築のため、保育士の確保に向けた取り組みについて伺う。 ② 介護人材の確保について伺う。				
3	働き方改革について				① テレワークや副業、兼業といった多様な働き方の後押しはできないか伺う。 ② 女性が活躍しやすい環境の整備について伺う。				
4	観光について				① インバウンドは「地方創生」の重要な柱と考えるが、今後のあり方について伺う。 ② 新たな観光ルートの開拓と、新たな魅力の発信をどのように進めていくのか伺う。				

平成29年第1回鹿角市議会定例会代表質問

順位	2	会派名	公明・鹿真会	代表質問者	兎澤 祐一	質問所要時間	60分	No.2
質問事項			質問要旨					
5	災害対策について			③ 東日本大震災以降の宿泊施設の宿泊者の減少への対策について伺う。				
6	教育施策について			① 自然災害から市民を守る「防災・減災対策」の強化を今後どのようにしていくのか伺う。				
7	安定的な水の供給を確保するため		① いじめや不登校などで学校にいけない子供たちに、学びの場を確保する対策について伺う。					
			② 子供の貧困の連鎖を断ち切る対策、特に進学を後押しする対策について伺う。					
			③ 両親を失った子供たちへの支援の現状と今後の対策について伺う。					
			① 水道台帳の整備状況について伺う。					
			② 管路更新について伺う。 (ア)管路更新率は何%か。 (イ)鉛管とアスベスト管の交換について。 (ウ)管路の継ぎ目の耐震化をどのように進めているか。 (エ)耐震化率はどのようになっているか。					
			③ 鹿角市のアセットマネジメントはどのようにになっているか伺う。					

平成29年第1回鹿角市議会定例会代表質問

順位	3	会派名	創生会	代表質問者	高杉 正美	質問所要時間	60分	No.1	
質問事項				質問要旨					
1	鹿角市まち・ひと・しごと創生総合戦略について			① 産業力強化、移住・交流推進、鹿角ブランド確立、子どもの笑顔きらめき、みらい輝く人づくり、まちなか賑わい創出、地域コミュニティ活力再生、健康生き生き長寿社会について、市民が安心して暮らせるまちづくりにどのように取り組むのか、市長の見解を伺う。					
2	産業振興について			① 農業者の所得向上を図ることを狙いとして、農産物の流通加工の改革、農産物の輸出競争力の強化、または収入保険制度の導入等、さらなる改革断行を実行すべきと思うが、市長の見解を伺う。					
	(1) どう進める農業改革			② 鹿角の里は、国内でも有数な観光地である。観光プラットホームは現在、かづの観光物産公社が担っているが、地域の主要産業であるにもかかわらず評価は余りよくない。日本一のプラットホームにするべきである。市長の斬新な考えを伺う。					
3	教育執行方針について			① 重要課題は「人づくり」としているが、「笑顔がつながり活力を生むまち～鹿角の未来を拓く教育の推進～」という基本理念とし、「心豊かで たくましく 郷土を愛し その発展に尽くす市民を育む教育を進める」という教育目標を掲げた。 今後の学校統廃合は、もっと将来を考えた、子供たちに不安や地域の皆様が安心して暮らせる教育環境をつくるべきである。 鹿角市教育委員会として、子供たちに目標を大きく自信をもって行動する教育をして欲しい。教育長の見解を伺う。					